

◎【学校教育目標】

3月号

『自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒』

〇《目指す学校像》 保護者が「通わせたい」 、地域が「応援したい」 活力のある元気な学校 **教職員が「勤めたい」、**

令和5年3月1日

コロナ禍で学んだこと・・・何気ない毎日に感謝、今(今日)できることを精-

3年前の令和2年1月15日、我が国初の新型コロナウイルス感染者が確認されたとの報道が全国を駆け抜けました。この日から今日ま での約3年余り、我が国を含め、世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回されました。その頃から、マスクを着用することが声高に推奨され、手指消毒や体温測定など制限の多い生活を送ることを余儀なくされました。約3ヶ月間に及んだ臨時休業、不要不急の外出制限を呼びかけた我が国で初めて発出された緊急事態宣言、感染防止のための三密(密閉・密集・密接)回避・ソーシャルディスタンス、中止・ 縮小されたイベント等々。初めて耳にする言葉や用語も少なくありませんでした。学校では、音楽科の合唱や合奏が中止や延期になったり、理科の実験が中止になったりするなど、それまで当たり前にできていた学習ができなくなりました。給食は前を向いての黙食になりました。部活動は何度か長い期間中止になり、公式大会も中止になる大会も出ました。中学生にとって、中学校時代の大きな思い出となる修学旅行も2年連続して中止となりました。その後、まん延防止等重点施策といった対応措置が適用され、結局3年生はスキー学校には行けませんでした。幸い今年度の修学旅行については、一定期間の部活動の中止、家族を含めた健康チェックや体温測定等できる限りの対応の下、何とか3年ぶりに実施することができましたが、コロナ禍の影響により当たり前にできていたことができなくなって、改めて計画通りに実施できることの有り無数なも、みに感じました。 できることの有り難さをしみじみと感じました

そのような中、3年以上続いたコロナ禍も何とか収まりつつあり、国はこれまでの医療的なデータの積み上げやワクチン接種等の効果などにより、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを変更することを決めました。5月8日からは、現在の2類から季節性インフルエンザと同等の5類にし対応を変えるとのことです。マスクの着用についても、3月13日からは、国の方針として「マスクを外すことを基本」との通知が発出され、県教長や市教長がよる世界の毎知があり、あとは学校の実態に応じて判断することになります。漸く本格的にW

本」との通知が発出され、宗教安や印教安からも同様の通知があり、めとは手校の実態に応じて刊断することになりよす。漸く本格的にW ithコロナ・Afterコロナの生活が始まる状況になりつつあります。 コロナ禍が収束に向かいつつあることは大変嬉しいことです。その流れの中で、世の中の多くのことがコロナ禍前に戻ろうとしていますが、その際私たちは、この3年余りに及ぶコロナ禍下での忍従生活の中で学んだことを、今後の生活に生かすことが大切だと思います。こ が、その除私にちは、この3年余りに及ぶコロデ禍下での忍促生活の中で学んにことを、今後の生活に生かりことが人切にと思いまり。こ の3年余り、皆さんは何を感じ、どう考えたでしょうか。私は、「特別ではない普通の毎日の生活がいかに貴重であり、有り難いことである か」について改めて思い知らされました。したがって、今後は、これまで以上に、『今を大事にし、今日できることを精一杯努めていきたい』 と思います。間もなく、皆さん一人一人が、新しい出発にあたり、新たな課題を乗り越えようとチャレンジしていくことになりますが、冷 静に考えてみると、そのこと自体、有り難く幸せなことなのかもしれません。コロナ禍が収まっても、ヨーロッパやアジア、アフリカの一 部の国では、戦争や紛争のため、明日の命さえ危うい国や地域がありますから。 もう少しで、マスクを外し、以前のように様々なことに思い切って取り組めるようになると思います。これまで以上に、何気ない毎日に 感謝しながら、やりたかったことにチャレンジしていきましょう。



芸術・文化面での昭和中生の活躍







第63回埼玉県小·中学校児童生徒美術展北埼玉地区展

平面の部 特選 山口 大地さん(2-2) 下田 結愛さん(1-5) 金賞 媛椛さん(2-2) 吉川

久保田 優奈さん(3-5) 加藤 暖人さん(3-6)

○ 立体の部

特選 竹内 美優さん(2-2) 金賞 石野 史琉さん(1-2) 菅 智乃介さん(1-4) 沼倉 実花さん(2-2) 大川 翔太郎さん(3-5)



〈竹内美優さんの作品〉〈山口大地さんの作品〉

第75回埼玉県かきぞめ 中央展覧会

安藤 凜 さん(3-2)





Fぶりの加須市少年の主張大会に**2**年生二瓶永鳳(



2月11日(土)に、3年ぶりとなる加 須市少年の主張大会・中学生の部が行われ、 昭和中からは、2年生の二瓶永鳳さんが学校を代表して、堂々と発表を行いました。 テーマは「日本の少子化」でした。 永鳳さんは、社会科の時間に学習した、我が国の人口 ピラミッドを見て、将来の国の有り様に関心を持ち、国 内外の対策を調べるとともに、今の自分にできることをしっかりやるとい う内容の発表でした。公共交通機関を利用する際に妊婦さんを見かけた際 はと一緒に公園で遊ぶ際の配慮など、小さな行為ですが、多くの人に広がれ

の心掛け、小さな子供と ば、子育てしやすい優しい社会の一助になりますね。

3年生、 木村空翔(そらと)さんと 宇野楓駕(ふうが)さん が救助活動

(火)午後6時50分頃、校区域内にお住まいの女性の方から学校に電話が入りまし 2月7日(火)午後6時50分頃、校区域内にお住まいの女性の方から学校に電話が入りました。この時間帯での地域からの電話は、安全な自転車の乗り方指導に関する内容のものが多いのですが、その日は違いました。電話は、昭和中3年生男子2名の勇気ある親切な行動に対する称賛でした。その具体的な内容とは、〇2人の中学生が踏切近くで体調が悪く困っていた高齢の男性に声掛けをし、その男性の様子から救急車を呼んだこと、〇救急車が到着するまで介抱をしたこと。〇大人でもできないことを中学生が行ってくれて感動したので学校で褒めてあげて欲しい、とのとでした。連絡を受けた先生からのメモを見て、2人の勇気ある行動に感動してしまいました。「困っている人を見かけた場合は、何とか助けてあげたい」ということについては、多くの人が、頭では理解していることだと思います。しかし、実際に目の前でとなると、行動に移すことをためらなします。そのような中、木村空翔さんと宇野楓駕さんは、「なんとちゃ」の思いで協力し、救急車の要請、そして救急車が到着するまで介抱を行ってくれました。本当に立派な行動でした。

日	曜日	学校行事等
1	水	校外学習(3年)、学習の日、巡回指導
2	木	
3	金	県公立高校入学許可候補者発表
4	土	
2 3 4 5		
6	月	県公立高校追検査
7	火	全校朝会(校長講話)、習の日
8	水	県公立高校追検査入学許可候補者発表
9	木	- 1 = - = - = =
10	金	卒業式予行、卒業生と語る会 (2年)、3年生給食終了
11	土	
12		
13	月	
14		表彰朝会
15	水	第73回卒業証書授与式、学習の日
16	木	
17	金	1・2年生学年末PTA・授業参観・学級懇談
18	土	
19		
20	<u> 月</u>	給食終了
21	火	春分の日
22	水	
23	木	学年集会
	金	修了式
25	丰	
26	냳	24 F - 11 24 F -
2 (月	学年末休業日
28	火	1
27 28 29 30 31	<u>水</u>	
30	金	1
31	亚	

